

東日本大震災 立命館・遠野拠点後方支援プロジェクト
学生・教職員「復興支援スタッフ(ボランティア)」募集

～今年のクリスマスかお正月は、東北被災地の復興支援へ～

実施期間

第1陣「クリスマス」支援便…12/21(水)夜出発-12/27(火)朝帰着

第2陣「年末年始」支援便…12/28(水)夜出発-1/3(木)朝帰着

■「後方支援プロジェクト」の要旨

立命館災害復興支援室はこの間の取り組みを通して活動拠点の一つとして岩手県遠野市との連携を深めてきました。現地では引き続き、被災された方々の生活支援などの面で、ボランティアの力が多く必要とされており、立命館としても遠野市を拠点とした復興支援を継続していきます。

今回、被災された方々が孤独を深めやすいクリスマスと年末年始の期間に、岩手県沿岸地域において被災された方々の生活に寄り添い、応援することを目的に、復興支援スタッフを派遣することとしました。

参加にあたっては、これまでのボランティア経験や、特別な特技等は必要ありません。立命館の学生として、被災された方々がクリスマスや年末年始を少しでも楽しく過ごせるよう貢献したいと考えているみなさんのご応募をお待ちしています。

■企画概要

＜日程＞ 第1陣「クリスマス」支援便…12/21(水)夜出発-12/27(火)朝帰着

第2陣「年末年始」支援便…12/28(水)夜出発-1/3(木)朝帰着

＜活動概要＞※現地ニーズ状況により、変更の場合もありますのでご了承ください。

- ・ 現地活動のコーディネートは、立命館が現地拠点としての分室を設けている岩手県遠野市にてボランティアコーディネートを実施する「NPO 法人遠野まごころネット」にご協力いただきます。
- ・ 活動場所は、当日の被災された方々のニーズの有無により現地で決定されます。大槌町、釜石市、陸前高田市等の応急仮設住宅等での活動となる予定です。

＜第1陣「クリスマス」支援便の活動予定＞

「サンタが100人やってきた！」プロジェクト支援 <http://www.facebook.com/santa100nin>

仮設住宅入居者の方々へのサンタ訪問、プレゼントの配布、関連イベントの開催、およびこれらの活動の後方サポートに携わる予定です。

＜第2陣「年末年始」支援便の活動予定＞

仮設住宅に入居する被災者の方々の年越しの支援、餅つき等の催し支援、お話し相手などに携わる予定です。

＜各便の宿泊＞

- ・ 遠野まごころネット宿泊所(遠野市浄化センター)の宿泊所にて、寝袋での宿泊。

■参加にかかる費用について

復興＋R基金から往復交通費、宿泊に関わる経費支援を行います。

参加者はボランティア保険(天災プランAもしくはB)加入費、移動中および現地での食費、入浴代の実費の負担が必要です。(おおむね 12,000 円程度の予定です。)

■スケジュール(車中泊2日・遠野泊4日の予定です)

	1 便	2 便	内容	宿泊
1	12/21(水)	12/28(水)	夜:京都駅発→(高速バス)→仙台駅へ	車中泊
2	12/22(木)	12/29(木)	朝:仙台市到着 貸切バスに乗り換え 昼:遠野市到着 到着後休憩、一部活動 16:30 遠野まごころネット・オリエンテーション	遠野泊
3	12/23(金)	12/30(金)	<活動日>	遠野泊
4	12/24(土)	12/31(土)	<活動日>	遠野泊
5	12/25(日)	1/1(日)	<活動日>	遠野泊
6	12/26(月)	1/2(月)	朝:(午前のみ活動) 昼:遠野を出発→入浴、途中休憩等→仙台へ 夜:仙台市着→(高速バス)→京都駅へ	車中泊
7	12/27(火)	1/3(火)	朝:京都駅着	

* 現地の交通状況や気候等により変更する場合があります。

<活動日スケジュール>

(遠野まごころネット宿泊の場合、6:00 起床チャイム／7:15 ラジオ体操)

7:30 集合・全体朝礼開始

8:00 ごろ 各現場に向けて出発。各現場へバス等で移動。

10:00 ごろ 活動開始

12:00～13:00 昼食 ※昼食はあらかじめ各自スーパー等で調達

15:00 ごろ 現場での活動を終了

16:00 ごろ 遠野に戻る

17:30 全体ミーティング・反省会

18:00 自由時間

22:00 消灯

<遠野まごころネットについて>

宿泊環境に関する詳細は、遠野まごころネット HP を熟読し、事前に確認をしてください。

<http://tonomagokoro.net/>

- ・ 参加にあたっては『**冬用の寝袋**』の持参が必須です。
- ・ 宿泊所は暖房がありますが現地の朝晩の気温は氷点下となります。十分な防寒対策を準備の上で参加するようお願いします。
- ・ 持ち物が別紙「持ち物リスト」を参照してください。

募集概要

■応募期間について * 定員が埋まり次第受付を終了します。

第1便 2011年12月9日(金)～12月15日(木)15:00まで ★締め切りを延長しました。

第2便 2011年12月9日(金)～12月19日(月)15:00まで

■参加定員

第1便: 京都発車の定員:13名／仙台市や遠野市での集合・解散者の定員:6名 合計19名

第2便: 京都発車の定員:11名／仙台市や遠野市での集合・解散者の定員:8名 合計19名

* 各便に最低1名の職員が同行します。

* 仙台市・遠野市等から途中参加・解散を可とします(事前相談の上、確認・了承が必要)。

* 参加人数が5名に満たない場合、実施を中止する場合があります。

■参加費用

参加費としての徴収は行いません。

* 復興+R基金から、現地までの移動にかかる交通費・宿泊に関わる経費を支援します。

* 移動時・活動中の食費、銭湯利用にかかる実費(おおむね12,000円程度)負担あり。

* ボランティア保険「天災プラン(AもしくはB)」に未加入の場合、加入費用が必要です。

■参加対象

立命館大学の学生・院生。(学生を優先し、定員余地のある場合教職員を募集します。)

(注意)この企画に参加し講義を欠席する際も「授業配慮」等を行うものではありません。各自の判断で参加を検討するようにしてください。

■参加手続き

- ① 応募:本資料最終ページのメールフォームより参加エントリーをしてください。
- ② 「応募期間」の終了日までに、災害復興支援室より参加可否のメールを返信します。
- ③ ボランティア保険に未加入の場合、立命館大学ボランティアセンター(衣笠・BKC)窓口で、「ボランティア保険加入」(★)を済ませ、ボランティア保険加入証を受け取ってください。
- ④ 出発までに「誓約書」(★★)を作成し当日持参(本人と保護者の署名、押印が必要)
(★)(★★)…活動開始までに「ボランティア保険加入(もしくは加入時の領収書)」および「誓約書」を準備できない方は、現地での活動に参加いただくことができません。

<ボランティア保険の加入手続きに関する注意点>

—天災プランに未加入の場合は、現地での活動参加の受け付けをすることができません！—

(1)ボランティア保険(天災プラン)について

- ・ ボランティア保険の加入期間は年度単位(4月～3月)となっています。今回の加入による保険の有効期間は2012年3月末日までです。
- ・ 天災プランは、通常のボランティア保険に加え、地震・噴火・津波・熱中症による事故も補償される個人加入のプランです。(保険料により補償額が異なります。)

(2)ボランティア保険に未加入の場合:加入手続き

- ・ 立命館大学ボランティアセンター(衣笠・BKC)、もしくは地域の社会福祉協議会等で加入手続きが可能です。保険費用天災プランA 600円 / B 1,100円を出発2日前まで(*大学ボラセンの場合)に手続きを済ませ、必ず「加入者カード」を取得してください。

(3) ボランティア保険(活動保険)に加入済みの場合

- ・ 既にボランティア保険(活動保険)に加入し、加入者カードを持っている方も、被災地の活動の安全を確保するため、上記(1)(2)を確認し、必ず天災プランに加入してください

(4) すでにボランティア保険(天災プランA/B)に加入済みの方

- ・ 2011年4月以降にボランティア保険「天災プラン(AもしくはB)」に加入しており、「加入者カード」を持っている人は、③の手続きは不要です。

(5) ボランティア保険(天災プランA/B)に加入済みで、「加入者カード」がない場合

- ・ 4月以降に天災プランに加入し、現在「加入者カード」を持っていない場合や、紛失してしまった場合、ボランティア保険の支払いが確認できる領収書類を現地に持参するか、手続きをした窓口に申し出てカードの再発行を受けた上で、活動に参加してください。

<各受付け窓口>

※この書類の配布場所／ボランティア保険の加入手続き(＊保険手続きは出発2日前まで)

立命館大学ボランティアセンター (衣笠)学術館1階 075-465-1952

(BKC)セントラルアーク2階 077-561-5910

※その他のボランティア保険加入窓口(手続き窓口や手順、申込期日等については、事前に電話連絡で確認をし、各保険担当者の指示に従ってください。)

京都市社会福祉協議会 TEL 075-354-8735 <http://v/hitomachi-kyoto.jp/>

京都災害ボランティア支援センター TEL 075-741-6001 <http://www.saigai-v.com/>

滋賀県社会福祉協議会 TEL 077-567-3924 <http://www.shiga-volunteer.net/>

※参加問い合わせ・企画や持ち物に関する質問

災害復興支援室(総合企画課内) 担当: 北川

TEL 075-813-8130(総合企画課につながります) 担当直通 080-1412-9489 311fukko@st.ritsumeil.ac.jp

※この書類のダウンロード・参加申込みについて

災害復興支援室 復興支援スタッフ(第1陣・第2陣) エントリーフォーム ・ ダウンロード QRコード

(パソコン用フォームURL) <https://ws.formzu.net/fgen/S48824680/>

(携帯電話・スマートフォン) 右のQRコードより、エントリー画面、書類ダウンロード可

(書類のダウンロード) 災害復興支援室 [お知らせ] 12/9 記事よりアクセス



<告 知>

立命館・遠野後方支援プロジェクトでは、2012年2月・3月の定期的な「復興支援スタッフ(ボランティア)」による現地での活動を計画しています。詳細はあらためて、学生、教職員の皆さんにご連絡させていただきます。ご協力をお願いします。

立命館・遠野拠点後方支援プロジェクト「復興支援スタッフ」

■必要な持ち物 リスト

<宿泊に関するもの>

- ☐ **寝袋* 冬用寝袋が必須**(現地は朝方には氷点下の気温になります。)
- ☐ 毛布(就寝時用)
- ☐ 生活用品(車中泊、現地泊に必要な衣類、洗面用具、お菓子など。)
- ☐ 防寒対策品(カイロ、防寒肌着など。必要と判断するものを各自で用意してください。)

- ☐ お金(移動中、現地活動中に必要な 12,000 円程度～余裕を持ち準備をお願いします。)

<活動中の装備に関するもの>

- ☐ 作業服(動きやすい長袖・長ズボン)
- ☐ ヘルメットまたは帽子
- ☐ ゴーグル(埃・危険物から目を守るため。)
- ☐ 防塵マスク(フィルター、カートリッジ取替式。または使い捨てマスクを重ねても可。)
- ☐ 軍手・ゴム手袋・革手袋(作業内容によって使い分けます。3種類の用意をお願いします。)
- ☐ 長靴タイプの安全靴(つま先に鉄板が入ったもの。)
- ☐ 踏抜き防止インソール(安全靴に敷く中敷き。ホームセンターやネット注文で入手してください。)
- ☐ サンタ衣装 ★第1陣「クリスマス」支援便 参加者のみ

* 現地状況によっては必ずサンタとして参加できるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

☐ 現場に持参するもの

- ・健康保険証(コピーも可)
- ・雨合羽(上下に別れたもの)
- ・ウエストポーチ(貴重品入れ)
- ・各自必要な常備薬
- ・飲料、昼食(宿泊所近辺のスーパーで購入可能です)
- ・大きなビニール袋(活動後の汚れた作業服・靴入れ用)
- ・筆記用具、メモ帳等

☐ 手続き関連(現地到着までに)

- ・誓約書の作成(参加者本人と保護者の署名・捺印が必要)
- ・ボランティア保険(天災プラン)への加入
- ・**ボランティア保険「加入カード」の取得**(もしくは保険支払いがわかる領収書の持参)

持ち物の注意点は、遠野まごころネットHP「持ち物や装備」にも解説があります。<http://tonomagokoro.net/>

誓約書

年 月 日

立命館大学 御中

このたび、私は、東日本大震災 立命館・遠野拠点後方支援プロジェクト(以下、「甲」という)でのボランティアプログラム(以下「研修」という。)に参加するにあたり、以下の事項を厳守して誠実に研修を全うすることをここに誓約いたします。

一、私は、甲の研修担当責任者の指揮および監督に従います。

一、私は、研修期間中において、甲の秩序を乱すことや立命館大学/大学院の品位品格を損なうことをいたしません。

一、私は、無断で、欠勤、遅刻および早退はいたしません。やむをえない場合には、必ず甲の研修担当責任者に連絡いたします。

一、私は、研修期間中において知り得た甲にかかわる内部情報や機密事項について、研修期間中および研修期間終了後においても、守秘義務を負います。
また、私は、甲にかかわる内部情報や機密事項を引用して第三者に発表する場合等は、事前に甲による承認を得ます。

一、私は、研修期間中に自己の故意または過失によって、甲または第三者に損害を与えた場合は、甲と立命館大学との間の覚書、協定または契約の内容にかかわらず、その賠償責任を負います。

一、私は、研修開始前に「学生教育研究災害傷害保険」および大学の指定する「ボランティア保険」に加入し、研修期間中に生じた災害または事故により被った損害または自己の責めに帰すべき事由によって研修期間中に起こした対人・対物損害については、これらの保険によって補償を受け、または賠償します。

一、私は、この研修が実践的活動の一環であることを理解し、期間中に被った損害について、保険の範囲内で補償を受けるものとし、立命館大学/大学院に請求いたしません。

研修生自筆署名捺印

立命館大学 _____ 学部・研究科 _____ 回生

学生証番号: _____

氏名: _____ 印

住所: _____

電話: _____

保護者自筆署名捺印

続柄: _____

氏名: _____ 印

以上